

臨床心理士

「臨床心理士」受験資格取得について

- | | |
|-------------------------|--|
| 1. 資格の趣旨 | 「臨床心理士」とは、臨床心理学に基づく知識や技術を用いて、人間の“こころ”の問題にアプローチする、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会が定める資格である。資格についての詳細な情報は、日本臨床心理士資格認定協会のホームページを参照すること。 |
| 2. 資格取得の流れ | 臨床心理士養成に関する指定大学院（1種・2種）または専門職大学院を修了し、年に一度行われる日本臨床心理士資格認定協会の資格試験に合格することで資格を得る。なお、立教大学大学院は、第1種指定大学院（修了後の心理臨床経験がなくても資格試験を受験可能）に指定されている。 |
| 3. 受験資格取得の方法および科目履修について | 受験資格を取得するためには、日本臨床心理士資格認定協会が認可する受験資格基準に該当することが条件となっている。 <ul style="list-style-type: none">臨床心理士指定大学院必修科目全てにおいて単位修得が必要である。選択科目のA群～E群において、各群2単位以上、計10単位以上の単位を修得する必要がある。 |

現代心理学研究科 臨床心理学専攻

臨床心理士資格科目と公認心理師資格科目の読み替え（2018年度以降入学者）		
科目名	公認心理師科目の読み替え	備考
臨床心理士指定大学院必修科目		
臨床心理学特論 1	読み替えない	
臨床心理学特論 2	読み替えない	
臨床心理面接特論 1（心理支援に関する理論と実践）	⑦心理支援に関する理論と実践	
臨床心理面接特論 2	読み替え不可	
臨床心理査定演習 1（心理的アセスメントに関する理論と実践）	⑥心理的アセスメントに関する理論と実践	
臨床心理査定演習 2	読み替え不可	
臨床心理基礎実習 1	読み替えない	
臨床心理基礎実習 2	読み替えない	
臨床心理実習 1（心理実践実習 2）	⑩心理実践実習	
臨床心理実習 2	読み替え不可	
修士論文指導演習 1		
修士論文指導演習 2		
修士論文		
選択科目	群	各群 2 単位以上計 10 単位以上
臨床心理学研究法特論	A	読み替えない
心理統計法特論 1	A	読み替えない
心理統計法特論 2	A	読み替えない
発達心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	B	②福祉分野に関する理論と支援の展開
人格心理学特論	B	読み替えない
認知心理学特論	B	読み替えない
社会心理学特論	C	読み替えない
組織心理学特論	C	読み替えない
社会病理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	C	④司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開
精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	D	①保健医療分野に関する理論と支援の展開
心身医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	D	①保健医療分野に関する理論と支援の展開
障害児・者心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	D	②福祉分野に関する理論と支援の展開
臨床心理学特殊研究 1 -子どもの臨床心理-	E	読み替えない
臨床心理学特殊研究 2 -投映法-	E	読み替えない
臨床心理学特殊研究 3 -心理療法-	E	読み替えない
臨床心理学特殊研究 4 -心理臨床倫理-	-	読み替えない

※「読み替えない」は本学でその旨定めたもの、「読み替え不可」は日本臨床心理士資格認定協会よりその旨通達があったものを示す。

※科目名の数字（例：①）は、公認心理師受験資格要件科目の10科目と対応している。

※公認心理師受験資格要件科目の、③教育分野に関する理論と支援の展開、⑤産業・労働分野に関する理論と支援の展開、⑧家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践、⑨心の健康教育に関する理論と実践、⑩心理実践実習についてはこの表に記載されていないため注意すること。